

高校スキー部 市川岳海 国体出場権獲得

1月15日、長野県菅平スキー場で行なわれた第72回国民体育大会冬季大会スキー競技会東京都大会で1年の市川岳海が第6位入賞で国体出場権を獲得した。元旦の練習中に膝を10針縫う大怪我、1月7日・8日のインターハイ予選では思うような滑りが出来なかった。関東大会出場権は獲得したが全国への切符には手が届かなかった。前任の長澤監督から引き継いだ新監督の原先生も「まだ1年生、無理はするな」と声をかけた。14日のプレ大会でも足に痛みがあり自分の滑りは出来なかった。15日、本番、市川は「先生、最後1本、足が取れても自分の滑りをしてきます」と闘志を燃やした。結果は執念が引き寄せた6位入賞、国体出場権を獲得した。東京都の出場枠6名、最後の切符を力でもぎ取った。長澤前監督も「1年生では東京で1～2番、このまま力をつければ来年のインターハイも間違いない」と太鼓判を押す。怪我にもめげず全国への切符を手にした市川の根性に拍手を贈ろう！！

中学男子 卓球 第9ブロック新人大会

1月8日、府中第2中学校体育館で第9ブロック新人大会団体戦が行われた。1回戦、府中一中、乙幡・小泉・井上が勝利、接戦をものにして突破。2回戦、武蔵野一中、相手エースを小泉が逆転勝ち、和田・小川のダブルスと細野が勝利3回戦へ駒を進めた。3回戦は全国大会出場校の府中5中、結果は0-3だったが、ダブルスとシングルの細野・乙幡の3試合ともに接戦、あと一步の戦いぶりだった。ブロックベスト16位となり都大会出場権を獲得した。2年、細野・乙幡・小泉・和田・小川、1年井上、6人全員で勝ち取った都大会である。有賀監督は「初戦から苦しんだが、全員でフォローしながら接戦をものにした。一戦一戦大切にし向上を目指したい」と話された。頑張れ卓球部！

1回戦	明星3-2 府中一
2回戦	明星3-1 武蔵野一
3回戦	明星0-3 府中五

高校女子 卓球 全国選抜東京都予選女子個人

1月9日、東洋英和高校体育館で平成28年度全国高等学校選抜卓球大会女子個人東京都代表選考会が行なわれ、シングルスAクラスの36選手で全国選抜大会の出場権を競った。明星から1年生の大窪が出場。1回戦、共立女子を3-0、2回戦、都立上水を3-1、と退け、3回戦へ駒を進めた。3回戦の相手は東海大菅生、熾烈な戦いを繰り広げ、あと一步と相手を追い込むが1-3での惜敗となった。佐藤監督は「1回戦から気の抜けない戦いが続く中、ベスト16まで進出した。全国がそこまで来ているような戦いぶりだった。全国へ行ける様になって貰いたい」と1年生の大窪の健闘を称えた。燃えろ、目指せ全国！！応援している！

高校 柔道 選手権大会第4支部大会

1月14日、多摩武道館で第4支部大会が行われ66kg以下級に1年の内藤が出場。1回戦、明大明治八王子、長身選手が背負い投げで攻めて来た所を大外刈で返し有効、そのまま押さえ込み見事な1本勝ち。2回戦、シードの日大三、奮戦するも惜敗、敗者復活戦では東京電気大と対戦、残り10秒まで互角、もつれて倒れた所を有効とされ敗戦。臥薪嘗胆！！

高校女子 硬式テニス 予選突破 ベスト64

1月6日から行なわれた私学大会、9日にシングルス、15日にダブルス、予選決勝が行われシングルスで1年の西村乃亜が予選準決勝、晃華に6-0、決勝、日大鶴ヶ丘に6-0と力の違いを見せ付ける試合運びで予選を突破した。斎藤佳菜美が決勝まで進出するが中大附属に惜敗、榎本彩乃・大久保玲美も準決勝進出するも一步及ばず敗退。しかし、4人共に1年生、上級生を相手に善戦、掛川監督も「これからが楽しみです」と活躍に目を細めていた。

ダブルスは西村・大久保ペアが準決勝、中大附属に6-0、決勝、吉祥女子に6-1で勝利、予選突破、本戦出場を決めた。西村は「自分に勝ち、相手に勝ちます」と力強く語った。

中学女子 硬式テニス 冬季強化練習大会

1月15日、有明テニスの森コートで東京都ベスト16による強化試合が行なわれ、明星は5～8位グループで小金井一・田園調布双葉・日大三とリーグ戦を行った。ダブルス3つ、公式戦とは違う試合方法で行われた。蝦名・荒木・青木・佐野・池亀・奥山、6人が戦った。結果は5勝3敗1分け1打切りだった。明星の試合が始まると情報収集なのか他のコートより観戦者が多い様に感じられた。猪狩監督は「弱点のないチームを作りたい。全員で勝つ、全員が勝つ、が目標です」と語る。火の玉娘の挑戦は続く、もっと赤く、もっと強く燃える。

高校女子 バスケット 新人戦本大会

1月8日、佼成学園で新人戦5回戦が行われ第8シードの国本高校と対戦した。出だし南部・白井が得点、中山が相手ファウルをものともせず得点、カウント・ワンスロー、互角の試合展開も相手に3点シュートを入れられ第1ピリオド15-23で終わる。高さで劣る明星はオールコートのプレスと速攻、コート狭しと走り回った。その攻撃が功を奏し第2ピリオド20-22と互角、必死に喰らいつき前半35-45で折り返す。第3ピリオド、疲れが出た訳ではないが、つめようと思った点差が開いてしまった。得点チャンスを作り出すが得点とならない、相手の高さがジワジワ効いてくる。107-71、点差ほどの差はないそう感じる試合内容だった。あと一步、この悔しさを春の大会でリベンジする事を誓う。頑張れ！！

高校男子 バレー 新人戦決勝大会前の練習試合

1月15日、明星第2体育館で桐朋高校と練習試合を行ない結果は2勝3敗。上岡監督は「久々の対外試合と言う事もあり、攻守共に精彩を欠き、不満足な内容だった」と語られた。新人戦決勝大会の組合せが決まった。1回戦の相手は日大三、29日に激突する。これに勝ってベスト20、上岡監督は選手の闘争心に火をつける。頑張る時は今！！熱く燃えろ！！

高校女子バレー 練習試合

1月15日、明星サブアリーナで聖徳学園と午前中練習試合を行なった。この日の試合はチーム力アップ、コンビの確認、全員出場の総力戦で戦いにのぞんだ。普段スタートで出る事の少ないBチームもスタート出場、緊張する事も無く力を発揮、6セット全勝とした。

中学サッカー 練習試合

1月15日、府中第5中学校グラウンドで府中第6中学・石神井西中学と練習試合を行なった。結果は2敗だったが、攻守にわたり手応えを感じる試合となった。メンバーが足りず3年の富田先輩が参戦、石神井西戦では見事なシュートを決め、後輩の良い手本となった。

